

★ ★ ★
★ ★ ★
★ ★ ★
南十字星

発行者
クイーンズランド
日本語補習
授業校校長
丸山吉信

今後の予定

- 九月六日
 - ・ 合同運営委員会
- 九月十三日
 - ・ GC 補講二回目 (要お弁当)
- 九月二〇日
 - ・ 第二学期終業式・成績通知表配布
- 十月四日
 - ・ 第三学期始業式・後期教科書配布
 - ・ GC 教員研修
- 十月十一日
 - ・ BNE 教員研修
- 十月十八日
 - ・ BNE 第三回運営委員会
- 十月二十五日
 - ・ GC 第三回運営委員会
 - ・ BNE 補習校祭り

球根栽培

先週、ブリスベン校の小一と小二の児童全員にガラスオラスの球根を二個ずつ配布しました。
これは、理科学習の一環として、学習指導要領の「せいかつ科」の項にあ

る次の目標に基づいて行われるものです。

(一)動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようになる。

(二)身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。

学習指導要領の第一章「総則」には、日本の教育の指針が示されており、その初めの項に「生きる力」を育むことを目指すと述べられています。これは、児童が主体的に学習に取り組む態度を養い、生活の中での問題解決に必要な思考力、判断力、表現力を育むことを目標に学校教育を展開しようとする指針です。この「生きる力」の目標は、前述の「せいかつ科」の目標の中

にも見えます。子供たちが球根栽培を通じて自ら「気付く」ことが大切です。そして、気付いたことについて自ら「考える」こと、そして、それらを自分の力で「表現する」ことが目標です。このため、週一回、絵日記風に観察記録をつけることが課題になっています。

また、学習指導要領「総則」の二つめの項には、道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行う、とあります。「いちやんのかげおくり」や「一つの花」のような国語の単元で平和について学んだり、また、先日の運動会で集団で力を合わせることを学んだように、「道徳」以外の教科や学校行事にも道徳教育の目標が組み込まれています。この「せいかつ科」の球根栽培では、ガラスオラスにも命があること、それを大切にできることが目標です。

これらを学ぶために、まず、ペットボトルを用いた水栽培で球根を育て、命の芽生えと成長を観察します。透明のペットボトルを使うと、根の張り出し具合や芽の成長が目に見えてわかります。写真は事務所で挑戦している「みずちゃん」です。事務所では他にも「キユウちゃん」と「ムーちゃん二号」が頑張っています。このように、

皆さんも名前を付けてみませんか。ちなみに、二年生の先生の球根は「グラちゃん」と「オラちゃん」だそうです。

ヒヤシンスの時期が終わってしまったため、ガラスオラスの栽培をすることにしました。ガラスオラスはヒヤシンスほど根腐れの危険がない球根ですが、念のため、二個ずつ配布しました。ひとつは予備とお考え下さい。また、ヒヤシンスは小柄な植物ですが、ガラスオラスは成長すると六〇センチから九〇センチになります。成長につれてペットボトルでは無理になりますから、しばらくしたら、土を入れた鉢に植え替えて観察して下さい。開花の時期が補習校祭りにうまく合えば、展覧会をしたいと思えます。また、観察記録は補習校祭りで展示します。



教育コラム

「子供が補習校を辞めたいと言いつ
出したら」

お子様が補習校を辞めたいと言つてきたら、皆様はどう対応するでしょうか。

子供が辞めたいと言いつ出す理由は一様ではありません。永住家庭、国際結婚家庭、駐在家庭などの滞在の形によつても異なります。しかし、このように言いつ出す子供の視点で考えてみると、子供なりの理由があり、子供は暗闇の中から「辞める」という救いの道を求めている場合が少なくありません。駐在家庭の場合には、逆に、現地校を辞めたいと思いつながら辞めるといつ選択肢が存在しない中で、そのような子供の心の潤いの場として補習校が機能している場合が多く、状況が永住家庭とは異なります。しかし、永住家庭や国際結婚家庭においては、現地校が潤いの場であり、補習校の勉強の方がよりハードルが高いのが通常ですので、辞めるといつ選択肢が可能なとある補習校はしばしば切り捨てられることとなります。

補習校を辞めるには退学届を出すだけですから、辞めるのは簡単です。

しかしながら、子供の将来を考えてみると、子供が大きくなつたときに直面するアイデンティティの問題は深刻ですし、また、補習校出身者の世界的活躍を見ると、もつたない気がします。どの国であれ、アイデンティティの形成にはその国の公教育が重要な役割を果たしています。補習校は、海外において日本の公教育を提供する貴重な教育施設です。上記の水栽培の欄でも触れたように、補習校は、学習指導要領に基づく日本の学校教育を学校と家庭とが連携してトータルに提供する場所ですので、子供は二か国の学校に学ぶことになり、その苦勞は親子共々決して小さくありませんが、苦勞を共にする級友同士で励まし合つたり、親同士で励まし合いつ、是非続けてほしいものです。

退学届の理由欄に書かれた退学理由は概ね、「帰国、転勤」、「スポーツ、習い事」、「勉強について行けなくなつた」、「家庭の事情」です。特に、スポーツや習い事が理由の場合は、子供には今現在しか見えませんので、将来の可能性を広げてあげるためにも親が子供の遠き未来に目を転じて決断する必要があります。また、学習上の劣等感や友人関係が理由の場合には、子

供かわいさのあまり、親もまた子どもと同じ暗闇の中で一緒に抜け道を求めがちです。しかし、このような状況は一過性のもので、たいてい一年もすれば、状況が変わるものです。また、子供は様々な困難を乗り越えて成長するといつことを受け入れることも大切な気がします。親は冷静になつて子供の将来を見据えなければなりません。子供にゆつくり歩めばいいことを伝え、気持ちの上での余裕を与えながらも、辞めるといつ選択肢は存在しない、と心を鬼にしてはつきりと強く言いつ必要があるのではないのでしょうか。辞めれば、そこで道は閉ざされてしまいます。「あのとき補習校を辞めさせないでくれて、ありがとう」と親に感謝している卒業生や「自分も辛かつたが、乗り越えた」と語るお母さんが世界の各地に大勢います。「継続は力なり」や「石の上にも三年」の言葉を胸に秘めて、是非頑張つて下さい。

全校朝会スピーチ

八月二十三日

BNE中二 高木龍之進

今年の八月一日に、僕が前に住んでいた、日本の下の方にある国、台湾の高雄という町で大きなガス爆発が起

きました。地下に通つているガスが爆発したため、爆発はとても広い範囲で起きました。その範囲の中には、僕が前住んでいた家も入っていました。原因はパイプからプロピレンガスといつガスが漏れたからだと考えられています。死者三十人、負傷者三〇九人といつ大惨事になりました。このような大惨事はもう二度と起きてほしくないです。



GC5 年算数「黒板でできる人！」



BNE 1 年算数「は〜い！」